## 大王製紙株式会社

https://www.daio-paper.co.ip/csr/



## 《将来に向けた取組方針》

大王製紙グループは、1993年に製紙業界で最も早く「DAIO地球環境憲章」を制定し、その方針の中に「森林保全と 生物多様性の維持」を定め、持続可能な森林経営と絶滅危惧等の動植物保護に取り組んできました。また、「大王製紙 グループ サステナビリティ・ビジョン では、「多様な生物が共生・繁栄する自然豊かな地球が再生されている」という 未来像を描き、その実現に向け、環境に対するマテリアリティ①気候変動への対応②循環型社会の実現③森林保全と 牛物多様性を特定し、目標を達成するためにバックキャスティング思考で具体的施策を実行しています。

## 【生物多様性保全に対する国内外での取組みについて】

①南米チリ共和国にあるフォレスタル・アンチレLTDAでは、 保有林59.000haの内28.000haを天然林とし維持して います。中には、チリの天然記念物「アレルセ (パタゴ ニア・ヒバ) | など希少樹種が生息している山林もあり、 チリ森林公社及び現地NGOと話合いを行い、専門機関 による牛息状況調査を実施しました。同機関から推奨さ れた事項を参考に適切な保護活動を進めています。



天然常緑種のアレルセ群生林 に設置した定点観測地



アレルヤ (希少植物) 群牛林

②ダイオーペーパープロダクツ(株徳島事業所は、絶滅危惧 I A 類に指定されている「カワバタモロコ」 の増殖・放流会議メンバーで、2016年1月に徳島県から譲り受けた200匹を丁場内の貯水槽で繁 殖させることに取り組んでいます。防鳥対策、産卵床整備、稚魚保護ケースの設置や水温・水質管 理を徹底し、譲り受けた200匹以上を、元の生息地に放流することを目標に、徳島県と連携し繁殖 活動を行っています。

モニタリング

により



貯水層のカワバタモロコ